

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第7部門第3区分  
 【発行日】平成31年1月17日(2019.1.17)

【公開番号】特開2018-143006(P2018-143006A)  
 【公開日】平成30年9月13日(2018.9.13)  
 【年通号数】公開・登録公報2018-035  
 【出願番号】特願2018-109701(P2018-109701)  
 【国際特許分類】

H 0 4 N 5/232 (2006.01)

G 0 3 B 5/00 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 5/232 4 8 0

G 0 3 B 5/00 G

【手続補正書】

【提出日】平成30年11月30日(2018.11.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

カメラボディに接続されるレンズユニットにおいて、  
 振動を検出する振動検出センサと、  
 像面における振れを低減する補正レンズと、  
 前記カメラボディに配置されて振動を誘引する駆動部を駆動させたときに前記振動検出センサが予め定められたノイズ信号を出力した場合に前記駆動部を駆動させた使用状況に関する情報を記憶部に記憶した後に前記駆動部を駆動させるときに前記カメラボディから受け取った前記情報と、前記記憶部に記憶された前記情報と、に基づいて、前記補正レンズを制御する制御部と  
 を備えるレンズユニット。

【請求項2】

請求項1に記載のレンズユニットにおいて、  
 前記制御部は、前記レンズユニットに接続された前記カメラボディの機種名、シリアル番号、総リリース回数、日時、および温度の少なくともひとつを含む、前記駆動部を駆動させた使用状況に関する情報を前記記憶部に記憶させるレンズユニット。

【請求項3】

請求項1に記載のレンズユニットにおいて、  
 前記制御部は、前記カメラボディから受け取った前記情報と、前記記憶部に記憶された前記情報と、の差に基づいて、前記補正レンズを制御するレンズユニット。

【請求項4】

請求項1から3のいずれか一項に記載のレンズユニットにおいて、  
 前記制御部は、前記記憶部に記憶された前記情報に相応する使用状況の場合には、使用者へ予め定められた通告を行うレンズユニット。

【請求項5】

請求項1から4のいずれか一項に記載のレンズユニットにおいて、  
 前記制御部は、前記記憶部に記憶された前記情報に相応する使用状況の場合には、前記補正レンズの移動を停止するレンズユニット。

**【請求項 6】**

請求項 1 から 5 のいずれか一項に記載のレンズユニットにおいて、  
前記振動検出センサは、角速度センサと加速度センサとを含み、  
前記制御部は、前記記憶部に記憶された前記情報に相応する使用状況の場合には、前記ノイズ信号を出力した一方のセンサの出力を利用せず、他方のセンサの出力に基づいて前記補正レンズの移動を制御するレンズユニット。

**【請求項 7】**

請求項 1 から 6 のいずれか一項に記載のレンズユニットにおいて、  
前記制御部は、前記記憶部に記憶された前記情報に相応する使用状況の場合には、前記駆動部が駆動される以前の出力に基づいて前記補正レンズの移動を制御するレンズユニット。

**【請求項 8】**

請求項 1 から 7 のいずれか一項に記載のレンズユニットにおいて、  
前記制御部は、前記記憶部に記憶された前記情報に相応する使用状況の場合には、前記駆動部が駆動されてから予め定められた時間の経過定められた時間の経過後に撮像動作を開始させるレンズユニット。

**【請求項 9】**

カメラボディに接続されるレンズユニットにおいて、  
振動を検出する振動検出センサと、  
前記振動検出センサの出力に基づいて像面における振れを低減する補正レンズと、  
前記カメラボディに配置された駆動部を駆動させた後に前記駆動部を駆動させた使用状況に関する情報を記憶部に記憶した後に前記駆動部を駆動させるときに前記カメラボディから受け取った前記情報と、前記記憶部に記憶された前記情報と、に基づいて、前記補正レンズを制御する制御部と  
を備えるレンズユニット。